骨粗鬆症治療用製剤について

1. 注射を打つ部位
* 皮下注射の場合には、お腹(腹壁)、太もも、上腕(※テリパラチドBS注のみ)が良いです。
* 注射部位によって吸収のされ方が違うため、「お腹ならお腹」、「太ももなら太もも」と同じ部位に注射しましょう。
* 同じ場所に繰り返し何度も注射していると、ききめが悪くなるので注射する場所は毎日変えましょう。

　　　前回注射したところから、２～３cm離れたところに注射しましょう。

　　　　

お腹

1. 消毒用アルコール綿

　　　消毒用アルコールは病院から支給された物を誤使用ください。

　　　使用済みのアルコール綿はご家庭の「燃やせるごみ」と一緒に捨てて良いです。

1. 針の処理方法

　　　使用後の注射の針は、**ふたの付いた缶やビンなど針が突き通らない容器**に入れ、まとめておいて、医療機関受診時に注射室あるいは薬剤部に持ってきてください。

　　　医療廃棄物となりますので、ご家庭の他のゴミと一緒に捨てないでください。



1. 注射薬の保管

　　　● テリボン皮下注オートインジェクター

　　　　　1回使用の製剤のため、再使用はしないでください。

　　　● テリパラチドBS皮下注キット

　　　　　1本で28日使用できます。

使用開始日より28日を超えて使用しないでください。

　　　　　使用**前・中**の注射薬　→　凍らせないように冷蔵庫で保管

　　　　　　　　　　　　　　　　　※一度でも凍ってしまった物は使わないでください。